



キリストのしるし

だい42しょう



イ エス・キリストのたんじょうのしるしがあらわれてから、
33^{ねん}年がすぎました。(3ニーファイ8：2)



^{ひと}人びとは、キリストのしるしである、3日間の^{かかん}くらやみがあらわれるのをまっていました。(3ニーファイ8：3)



しるしをしんじない^{ひと}人びとは、しんじる^{ひと}人びとと^いいあらそいました。(3ニーファイ8：4)



ある日、大きな^ひおおあらしがおこり、すさまじい^{かぜ}風がふきあれました。
(3ニーファイ8：5—6)



また、い^{ひか}なずまが光り、か^{ぜんち}みなりが全地をゆりうごかしました。
(3ニーファイ8：6—7)



ゼラヘムラの町は火につつまれ、モロナイの町は海にしずみました。モロナイの町は、地の中にうまってしまいました。(3ニーファイ8：8-10)



じしんが全地をゆりうごかしました。どうろやたてもものもこわれました。多くの町がはかいされ、たくさんの方がしにました。(3ニーファイ8：13-15)



あらしと、じしんは、3時間ほどつづきました。(3ニーファイ8：19)



あらしと、じしんがやむと、ふかいくらやみが地をおおいました。まったく光がなく、人がふれると、かんじることができるほどでした。(3ニーファイ8：19-20)



まっくらやみは、3日間つづきました。人びとは、ろうそくをとすこともできず、たいようも、月も、星も見えませんでした。(3ニーファイ8：21-23)



そして、くらやみと、はかいと、しのために、人びとは声をあげてなきました。つみをくいあらためておけばよかったと、こういしました。(3ニーファイ8：23-25)



すると、人びとはイエス・キリストの声を聞きました。(3ニーファイ9：1，15)



イエスは、この地におこった、ひどいはいについて、お話しになりました。そして、一番わるい人たちがほろぼされたと言われました。(3ニーファイ9：12—13)



それから、生きのこった人びとに言われました。「くいあらためなさい。くいあらためて、わたしのもとに来るものはさいわいである。」(3ニーファイ9：13—14)



それを聞いて人びとは、びっくりして、なくのをやめました。そのために、全地は何時間もしずかでした。(3ニーファイ10：1—2)



イエスは、もういちどおっしゃいました。「わたしは、あなたがたをなんでもたすけようとしてきた。あなたがたがくいあらためるならば、まだわたしに立ちかえることができる。」(3ニーファイ10：3—6)



3日たって、くらやみはきえさりました。人びとは、なくのをやめてよろこび、すくいぬしにかんしゃしました。(3ニーファイ10：9—10)